

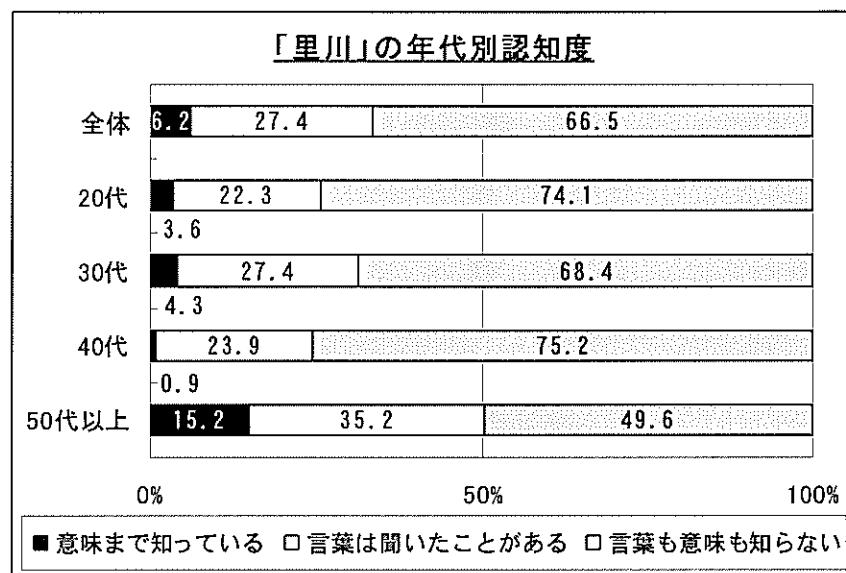
「里川」の認知とイメージ

Q. あなたは「里川」を知っていますか？

- ◇全体の約6割強が『「里川」を知らない』
- ◇世代別の認知率トップは50代以上で、15.2%が『言葉の意味まで知っている』

自然と人との共生の形として、数年前から「里山」に注目が集まり、全国各地で草の根運動的な「里山研究」「里山保全活動」が盛り上がっています。同様の趣旨で「水の文化センター」では2年前から人と川との関係をさぐる「里川（さとがわ）研究」を始めました。「里川」とは多様な人々が「使いながら守る川」のこと。

最近、環境保護や生活文化の専門家の間でも関心がもたれ始めた「里川」ですが、そんな「里川」の認知率を調べると、全体の66.5%が「里川」という言葉さえ知らないと答えました。意味まで知っていると答えたのは全体の6.2%にとどまり、まだまだ市民権を得ているとは言えないようです。ただし50代以上の認知率は高く、過半数が認知（『言葉は聞いたことがある』と『言葉の意味まで知っている』の合計）していました。



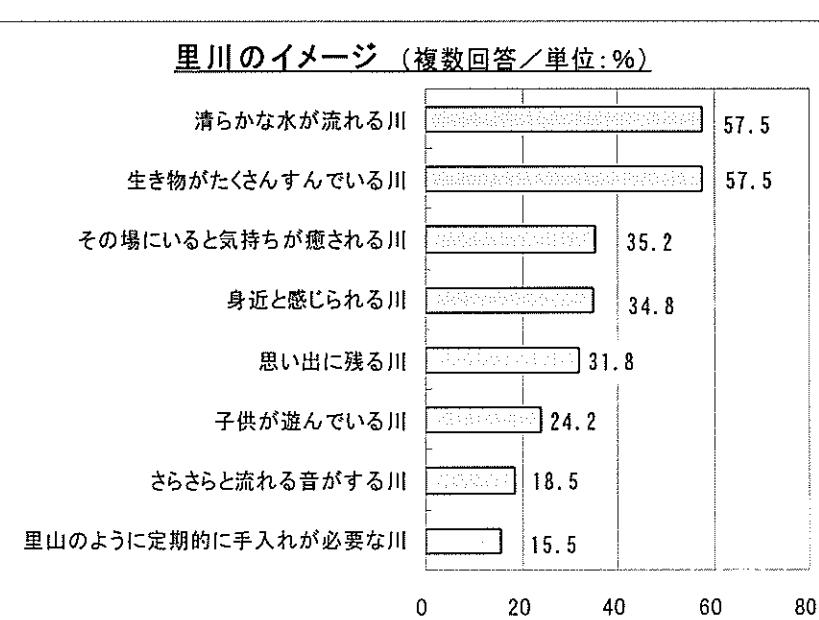
Q. 「里川」のイメージは？

- ◇トップは「清らかな水が流れる川」と「生き物がたくさん住んでいる川」
- ◇「里川」の条件は「きれいな水」と「親しみを感じられること」

認知率が著しく低い「里川」ですが、「里川」という言葉からどのような川をイメージするのでしょうか。

トップは『清らかな水が流れている川』と『生き物がたくさんすんでいる川』で57.5%でした。以下『気持ちが癒される川』(35.2%)、『身近と感じられる川』(34.8%)などと続きました。

多くの人がイメージする「里川」の条件とは、「水がきれいである」と「親しみが持てる」ことと言えそうです。



Q. 「里川」と思う川は？

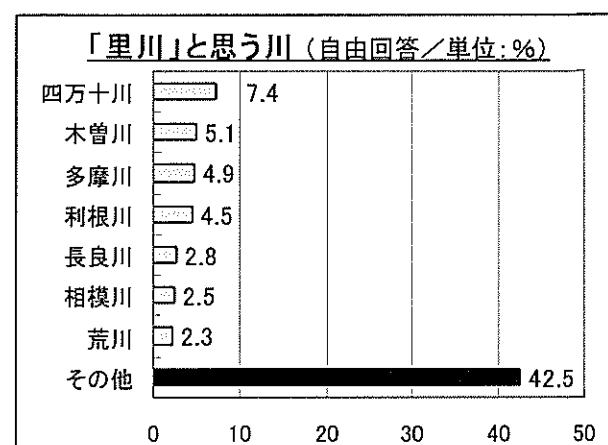
◇多種多様な回答、トップの『四万十川』も1割未満

「里川」と思う川について、具体的な河川名を自由に挙げてもらいました。

トップ3は四国の『四万十川』、東海の『木曽川』、関東の『多摩川』でしたが、いずれも1割に満たない回答でした。

10名以上が挙げたのは、この3河川を含めて7河川にとどまり、逆に『その他』(回答者が5名未満の川の合計)が42.5%に達し、回答が分散しました。これは、自分の居住地の近くや出身地の川を挙げた回答者が多かったためです。

この結果は、多くの人がイメージする「里川」とは、大河川や全国的に著名な川ではなく、身近である（あった）川であることの証左と言えるでしょう。



「里川」と思う川(居住地別)

	1位	2位	3位	その他
東京圏	多摩川 9.8%	利根川 8.5%	四万十川 7.1%	40.6%
大阪圏	四万十川 12.4%	淀川 5.8%	吉野川 4.1%	55.4%
中京圏	木曽川 16.7%	長良川 7.9%	矢作川／豊川 5.6%	33.3%

Q. 子供の頃の印象深いふるさとの風景は？

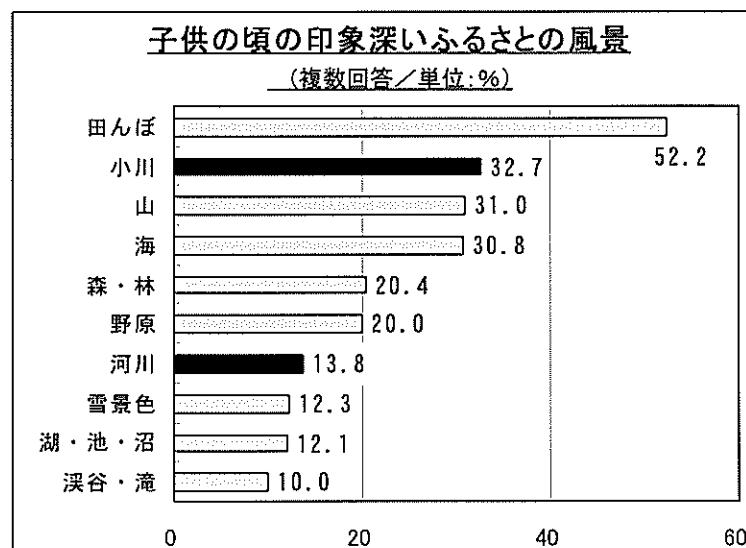
◇『田んぼ』が5割強でトップ

◇次いで『小川』『山』『海』

子供の頃のなつかしい思い出と結びついた、印象深いふるさと風景について聞きました。

1位は『田んぼ』(52.2%)で、唯一半数を超える『小川』が32.7%で2位でした。以下、『山』(31.0%)、『海』(30.8%)、『森・林』(20.4%)などと続きました。

大河川ではなく、『小川』が2位に入っているのは、前問までの「里川」のイメージと相通じるものがあります。



Q. あなたの居住地域には、

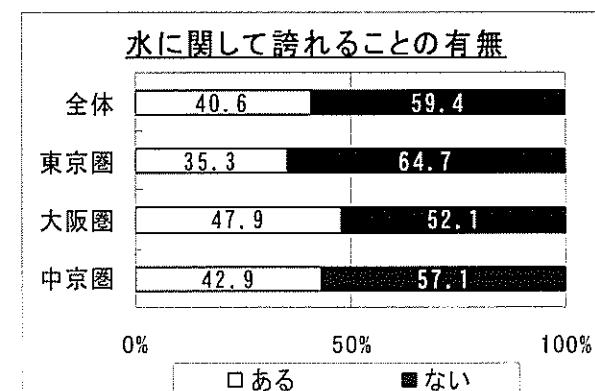
水に関して誇れることがありますか？

水に関して誇れることは何ですか？

◇約6割が『誇れる事はない』

◇誇れるもののトップは『川』

居住している地域に水に関して誇れることがあるか聞いたところ、全体では『ある』は約4



割（40.6%）にとどまりました。

居住地別に見ると、『ある』がもっとも多いのは大阪圏（47.9%）で、もっとも少ない東京圏（35.3%）を12.6ポイント上回りました。

次に、『水に関して誇れることがある』と回答した方だけを対象に、具体的に何が誇れるのかを聞きました。

全体では『川』が44.0%で圧倒的トップ。以下『公園』（24.6%）、『海』（18.8%）『水族館』（13.6%）などと続きました。居住地別で見ても、3エリアとも1位は『川』で、特に大阪圏では半数が『川』を水に関して誇れることとしています。

水に関して誇れること（もの・場所・事柄）トップ5（複数回答／単位：%）

全体 (n=191)		東京圏 (n=79)		大阪圏 (n=58)		中京圏 (n=54)			
1 川	44.0	1 川	36.7	1 川	50.0	1 川	48.1		
2 公園	24.6	2 公園	25.3	2 公園	25.9	2 公園	22.2		
3 海	18.8	3 海	24.1	3 水族館	15.5	3 水族館	18.5		
4 水族館	13.6	4 港 湧水 港	12.7	4 海	13.8	4 海	16.7		
森林	10.5			森林		湖・池・沼	11.1		
湧水									
港						森林			

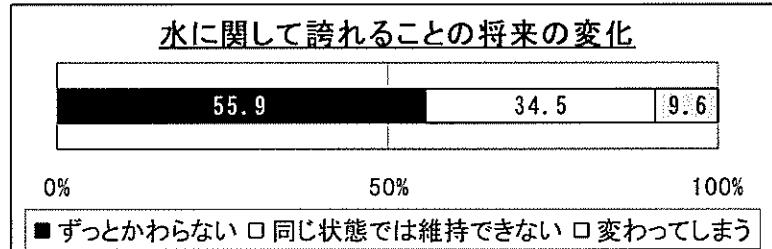
Q. 水に関して誇れることは、これからもずっとこのまま変わらないと思いますか？

◇過半数が『このままでずっと変わらない』

水に関して誇れることが、将来的にも変わらず残っていくと思うかどうかについて聞きました。前問と同様『水に関して誇れることがある』と回答した方だけに答えてもらいました。

過半数が『このままでずっと変わらないと思う』と回答し、『変わってしまう』は1割弱でした。

根拠があつての回答というよりは、変わらないで欲しいという、願望を反映した数字と言えるのではないかでしょうか。



Q. もっとも自然が残っていると考える日本の川は？（自由回答）

◇10年連続で『四万十川』がトップ

1位は当設問を設定して以来10年連続で『四万十川』でした。これまでと同様、2位以下大きく引き離してのトップです。

もっとも自然が残っていると考える日本の川（過去5年の推移）（単位：%）

	2002年		2003年		2004年		2005年		2006年	
1 四万十川	48.9	四万十川	46.9	四万十川	49.1	四万十川	47.7	四万十川	48.2	
2 長良川	6.4	長良川	5.2	木曽川	4.6	信濃川	4.8	木曽川	4.5	
3 信濃川	5.6	石狩川	4.5	長良川	4.4	最上川	4.0	長良川	4.0	
4 利根川	3.9	信濃川	4.2	信濃川	4.2	長良川	3.8	信濃川 利根川	3.8	
5 石狩川	3.1	最上川	3.8	石狩川	3.2	石狩川 木曽川	3.6	最上川	3.6	

Q. 水辺の自然がもっとも損なわれていると思う都道府県は？（自由回答）

◇8割以上が『東京』または『大阪』を挙げる

大都市圏の居住者が考える、もっとも水辺の自然が損なわれている都道府県はどこでしょうか。全体では『東京』(51.2%)が過半数に達して群を抜いてワースト1。『大阪』が30.1%で続き、80%以上が『東京』または『大阪』がもっとも水辺環境が損なわれていると考えているという結果になりました。

居住地別に見ると、東京圏・大阪圏はそれぞれ自分の居住地をトップに挙げており、特に東京圏では、6割弱が『東京』がもっとも水辺の自然が損なわれているとしています。

水辺の自然がもっとも損なわれていると思う都道府県トップ3

	全 体 (n=471)		東京圏 (n=224)		大阪圏 (n=121)		中京圏 (n=126)	
1	東 京	51.2%	東 京	59.8%	大 阪	52.9%	東 京	53.2%
2	大 阪	30.1%	大 阪	19.6%	東 京	33.1%	大 阪	27.0%
3	神奈川	3.8%	神奈川	6.3%	千 葉	2.5%	愛 知	5.6%